

## 1 2 沖縄県 沖縄尚学高校

発表者 沖縄尚学高校 2年生 2名、1年生 3名 (計5名)

### 発表タイトル

広島と沖縄から平和を考える

### 発表の内容

- ・太平洋戦争中の沖縄では地上戦があり、広島では原爆投下があり、多くの民間人が無差別に犠牲になった。
- ・太平洋戦争は終結したが、戦争が残した傷跡は多くある。戦争は点ではなく、線で考えていく必要がある。
- ・終戦から74年たった今、戦争を体験した世代はとても少ない。私たち高校生に課せられた課題とは何か、を考えることができた。それは、「戦争のことをしっかり学び伝えていくことの大切さ」。私たちが沖縄戦や広島原爆投下を伝えていく。そして平和な社会を構築していきたい。

#### <平和のメッセージ>

過去の戦争が風化しようとしている。戦争は終わったが、戦後の社会には、何が残ったのだろうか。経済発展で大きく変わった日本社会の中で、忘れてはいけないことがある。伝え続けていかなければいけないことがある。私たちは、沖縄戦や広島原爆投下を学ぶことを通してそれに気づかされた。

忘れてはいけない。忘れ去られてはならない。それらの経験から、多くのことを学んで平和を構築していく使命が私たちにはある。沖縄に住む高校生としてしっかりと学び、考え、戦争の悲惨さ、実態、二度と戦争をしてはならないという戦争体験者から受け継いだ平和のメッセージを発信していきたい。

